

第七十五回帝國議會 院 船員保險特別會計法案外四件委員會會議錄(速記)第十二回

會議

昭和十五年三月十一日(月曜日)午前十時三十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 中野 治介君

理事野方 次郎君 理事中野 寅吉君

坂東幸太郎君 松尾 三藏君

眞鍋 儀十君 青木 亮貫君

栗山 博君 田代 正治君

濱地 文平君 太田 理一君

沖島 鎌三君 石坂 豐一君

田中 好君 井上 良次君

出席政府委員左ノ如シ

拓務政務次官 松岡 俊三君

樺太廳長官 棟居 俊一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

樺太地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)

○中野委員長 是ヨリ開會致シマス、坂東君ノ質疑ヲ御願致シマス

○坂東委員 昨ハ丁度今朝黨ノ係カラ此ノ委員會ノ補關委員ニ推薦シタヤウナ話ガアリマシタノデ、聞キマスレバ、既ニ同僚カラ質疑ガアツテ、ソレニ對スル政府ノ答辯ガアツタノデアリマスカラ、重複ノ虞ガアリマスカ知リマセヌガ、責任上二三茲ニ御伺シテ置キマス

此ノ樺太地方鐵道補助法中改正法律案

案デアリマス、其ノ第一條第一項中「十五年ヲ限リ」ノ下ニ「豫算ノ範圍内ニ於テ」ヲ加フトアリマスガ、其ノ「豫算ノ範圍内ニ於テ」ト云フ豫算ハドノ範圍ヲ指シテ居ルカト云フコトヲ一寸御尋致シマス

○棟居政府委員 只今御述ニナリマシタ第一條ニ新ニ挿入致シマス「豫算ノ範圍内ニ於テ」ト云フ字句ハ、從來ノ第五條ノ補助金ノ年總額ハ最高百二十萬圓トス」トアリマスノニ代リマス規定デアリマシテ、是ハ樺鐵ヲ買收致シマス、金額ガ著シク減少致シマス、隨ヒマシテ百二十萬圓ト云フ限度ヲ存置致シマスルコトガ不適合トナリマスノデ、第五條ヲ削除致シマス代リニ、政府ガ適正ト認メタル金額ヲ豫算ニ計上致シマシテ、豫算ノ範圍内ニ於テ尙ホ補助ヲ繼續スル鐵道ニ對シテ十分ナル根據ノ下ニ計算致シマシタ金額ヲ補助スル、毎年度同豫算ニ必要ナル金額ヲ計上致スト云フ趣旨ノ規定デアリマス

○坂東委員 以前ハ百二十萬圓ノ範圍内デアツタトシマスルナラバ、ヤハリ樺太鐵道買收後金額ハ減ル、ソレナラバ百二十萬圓以下ノ適當ナル金額ヲ書イタ方ガ宜イヤウナ氣ガシマスガ、ソレヲ書カナイト云フ點ハ、ドウ云フドコガ適當デナイノデセウカ、其ノ點ヲ御伺致シマス

○棟居政府委員 金額ヲ明示致シマシテモ、固ヨリ差支ハナイト存ジマスガ、將來如何ナル鐵道ガ更ニ補助ヲ受ケルヤウニナルカ、只今ノ所ハ左様ナ鐵道ヲ豫定致シテ居リマセヌガ、左様ナ場合ニ於キマシテモ、彈力性ノアル運用ヲ致スト云フ上カラ行キマシテ、新シイ規定ノ建前ノ方ガ宜シクハナイカト存ジマス、決シテ豫算ヲ特ニ補助ヲ受ケマス者ニ不利益ニ計上致スト云フコトハ絕對ニアリマセヌノデ、十分ナル根據ニ基キマシテ、算定ヲ致シマシタモノヲ各年度ニ計上ヲ致スト云フ豫定デアリマス、業者ニ不安ヲ與ヘルト云フコトハ固ヨリ政府ト致シマシテモ考ヘテ居ナイノデアリマス

○坂東委員 從來百二十萬圓以内トナツテ居リマス場合ニ、其ノ補助ノ金額ハ一定シテ居ラナカッタノデアリマスカ

○棟居政府委員 補助ノ金額ハ年百二十萬圓以内ニ於テ多少異動ハアリマス、ソレハ補助法ニ依リマシテ現在ハ二ツノ鐵道ニ補助致シテ居リマスガ、其ノ年度ノ建設費ニ對スル五分或ハ資本及ビ社債等ニ對スル八分ト云フヤウナ割合デ其ノ金額ガ變リマス、限度ハ百二十萬圓ト押ヘテ居リマスルガ、實績ハ多少變ツテ居リマス

○坂東委員 サウシマスルト以前ハハチヤント決ツテ居ラナカッタ譯デアリマスネ、サウスルト、此ノ改正ノ第二條ニ依リマシテ補助ノ割合ガ決ツタ、其ノ點ガ前ト違フ譯デスネ

○棟居政府委員 從來ト雖モ百二十萬圓以内ノ限度補助致シタノデアリマシテ、多少不用額トシテ豫算ガ殘ル場合モアリマス、今度モヤハリ豫算ハ一應計上致シマスルガ、ソレヲ限度ト致シマスルノデ、多少其ノ範圍内ニ於テノ異動ガ起リマスルノデ、豫算ヲ取ツタラ、ソレヲ全部補助シテ支出スルト云フ譯デハナイノデアリマス、一應ノ想定ニ基キマシテ、是ダケノ豫算ヲ計上致シタノデアリマス、是ハ從來ノ建前ト比べテ唯金額ヲ明示シタノト、明示シナイトダケノ區別デアリマス、寧ろ今度ノ方ガ彈力性ガアルノデハナイカ、左様ニ考ヘテ居リマス

○坂東委員 此ノ第二條ハ今度新ニ加ヘタ條項デアリマスカ

○棟居政府委員 此ノ第二條ハ今度加ヘタノデハナイノデアリマシテ、第二條ノ但書ノ改正ガ主ニナツテ居リマス、尤モ現行ノ方ノ第二條ノ第一項ハ、第二項ト云フヤウニ分ケテ居リマシテ、十五年ノ基本補助期間ニ致シマシテハ、年六分ニ益金ヲ留保ガ一分、次ニ五年ノ伸長期間ニ對シマシテハ、年五分、ニ對シテ益金留保一分五厘、斯ウアリマシタノヲ一律ニ基本期間モ伸長期間モ含メマシテ五分ニ對シテ益金留保ヲ一分、合計六分ヲ收益スルト云フコトニナリマシタノデ、基本期間ト伸長期間トヲ通ジテ六分ト一分五厘ト云フヲ改正致シマシタ、是ハ他ノ外地内地皆同様デアリマスノデ、樺太モソレニ追隨致シタノデアリマス

○坂東委員 サウシマス、第二條ハ總テ新シイ改正ノ條文デスカ、即チ形ノ上ニ於

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第七〇號)
樺太地方鐵道補助法中改正法律案(政府提出)(第八〇號)

テハ多少違ツテ居リマスガ、其ノ實質ニ於テハ第二條ハ先ノ場合ト餘リ變ツテ居ラナイ譯デスカ

○榊居政府委員 左様デアリマス、唯補助率ヲ變ヘタバカリデアリマシテ、實質ニ付テハ變更ハナイノデアリマス

○坂東委員 此ノ建設費ノ算定デアリマスガ、從來ハドウ云フヤウナ算定法ニ依ツタモノデアリマスカ、又今後其ノ算定法ハ從來ノ算定法ト違ヘテ行ク譯デアリマスカ、又同様デアリマスカ、其ノ點ヲ御伺致シマス

○榊居政府委員 建設費ハ是ハ法律ニ基キマシテ結局ハ會社ノ決算上ニ於ケル金額ヲ十分ニ檢討致シマシテ、適正ナル建設費ニ屬スル金額ト認定致シマシタモノヲ補助ノ基準ト致シテ居リマス、此ノ度買収致シマスル場合ニモ、建設費ハ會社ノ決算面ニ於ケル金額ニ十分ナル研究ヲ加ヘマシタ上デ適切デアル現度デ認定ヲスル、斯様ニ相成ツテ居リマス

○坂東委員 ソコデ只今御話ノ樺太鐵道株式會社ノ買収ノコトデアリマスガ、大體何ボニナツテ居リマスカ

○榊居政府委員 此ノ鐵道ハ昭和十五年度末ニ買収致ス豫定ヲ以テ、各種ノ手配ヲ致シタイト思ツテ居リマス、隨ヒマシテ尙ホ一年餘ノ期間ガ殘ツテ居リマスノデ、此ノ間ニ於テ會社側デ多少建設費ニ屬スル投資ヲ致シマス、ソレハ過去ノ實績デ大凡ノ見當ヲ付ケテ居リマスノデ、御手許ニ配付致シマシタ書類ニモ掲ゲテ置キマシタガ、百三十九万七千六百圓程度ノモノヲ昭和十五年ノ上期以降買収ニ至ルマデノ時期ニ會社ガ投資スルコトヲ想定致シテ居リマス、ソ

レヲ含メマシテ昭和十四年下半年期ノ決算面ニ於ケル建設費ニ加ヘマシテ之ヲ買収豫定價格ト致シテ居リマス、豫定價格ハ二千三百四十六万八千餘圓デアリマシテ、之ヲ公債ヲ以テ交付致シマスル關係上、多少交付金額ハ殖エテ參リマス

○坂東委員 今後ノ投資ヲ想定シテ居ルトシマスナラバ、其ノ想定ニ對シ、樺太廳ハ投資サスコトニ付テ監督ヲ行ツテ、ソレヲ實行サスト云フ責任ヲ生ズル譯デゴザイマス

○榊居政府委員 ソレハ會社側トノ間ニ協定ヲ致スヤウニ、只今協定ノ準備ヲ致シテ居リマス、總テ新規ニ建設費ニ包含サレル施設ヲ致ス場合ニ於テハ、樺太廳ノ承認ヲ受ケルコトニ致シテ居リマス

○坂東委員 買収價格ヲ二千三百餘萬圓ト大體決メテ居ル以上ハ、其ノ百三十餘萬圓ノ新タナ投資ハ實行セシメナケレバナラス必要ガアルト思フノデアリマス、其ノ投資ハ大體ドウ云フ形ノ投資デアリマスカ

○榊居政府委員 サシタル新施設ハ殆ド豫定ヲ致シテ居リマセス、車輛、軌條或ハ是ノ運送上ノ諸工作物デ、鐵道ノ運轉上必要缺クベカラザルモノト云フ限度デ、新シキ投資ヲ認メタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、是ガ爲ニ國ノ買収價格ヲ特ニ増加サスモノハ差控ヘタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○坂東委員 其ノ百三十萬圓ノ投資ハ大體ニ於テ會社側ト話合ハ出來テ居ルモノト見テ宜イノデアリマス

○榊居政府委員 百三十九萬餘圓ノ一應買収ニ至リマスマデノ建設費増加額ト想定致シテ居リマスルモノハ、從來ノ實績ヲ勘案致シマシテ、大體ニ於テ其ノ程度ノモノハ

必要デアルト樺太廳デハ認定致シテ居リマスノミナラズ、會社側デモ尙ホ向フ一年間ノ鐵道ノ運送上必要已ムヲ得ザルモノガ豫算面ニ現ハレテ居リマシテ、其ノ豫算ハ樺太廳ノ認可ヲ受ケルコトニナツテ居リマス、極メテ項目ハ多イノデアリマスガ、目立チマシタ新設備等ハナイノデアリマス

○坂東委員 其ノ投資ハ結局國家ガ拂フノデアリマスルカラ、有形的ニ、實際ニ於テノ投資デナケレバナラスト思ヒマスルガ、目星イモノガナケレバドウ云フコトニナリマスカ、兎ニ角百三十萬圓ハ國家ガ支拂フ以上ハ、目星イモノガナイ、唯漫然ト投資シタト云フコトデハ、信用ハ出來ナイト思ヒマス、其ノ點ヲモウ少シ的確ニ御答辯願ヒタイ

○榊居政府委員 是ハ豫想デアリマシテ、固ヨリ此ノ數字ガ買収ニ至リマスルマデニ、事實ノ上ニ形トナツテ現ハレテ來ルカドウカ、是ハ固ヨリ斷定出來マセス、併シナガラ此ノ會社ノ六十里ニ及ビマスル鐵道ヲ經營致シテ參リマスル上ニ於テ、百三十九萬圓内外ノ建設費ノ増加額ハ、常識的ニ見マシテモ、實際的ニ見マシテモ、疑問ノナイ經費デアル、斯様ニ見テ居リマス、細カク申上ゲマスレバ、最モ大キイノハ車輛費デアリマス、建物費、通信線路費、運送費、土工費、是等ハ毎年度會社ノ事業計畫上ニ繼續的ニ現ハレテ參リマスルモノデアリマシテ、此ノ範圍内ニ於テ一應樺太廳モ許可致シテ居リマスシ、會社側デモ資金計畫ヲ立テテ居ルノデアリマス、尤モ之ヲ買収スル時ニハ、十分決算上ノ檢討ヲ致シマスルノデ、不必要ナル金額ヲ支出スルコトハ、此ノタビ取交シマスル協定ニ於キマシテモ

認メラレテ居リマセス、又サウ云フ不必要ナ施設デアリマスルナラバ、會社ノ性質ニ反シマスルシ、樺太廳ト致シマシテモ、其ノ點ハ監視致スコトニ致シテ居リマス

○坂東委員 樺太鐵道ノ買収ハ、勿論法律ニ依ツテ其ノ價格ハ決メラレマスガ、ザツクバラシニ申シマス、樺太鐵道ノ建設費ハ實際ハ幾ラダツタノデアリマスカ

○榊居政府委員 實際ト申シマス……

○坂東委員 詰リ樺太鐵道ヲ建設シタ時ニハ非常ニ鐵ガ安イシ、貨幣ノ價值モ違ヒマスカラ、非常ニ安イ譯ナノデス、現在ハ鐵ノ値段ニモ關係致シマスシ、法律デ決メマスト、實際ノ價格ト必ズシモ符號シマセス、事實此ノ鐵道ノ建設費ハ大體幾ラ位デアツタノデアリマスカ

○榊居政府委員 建設費ト申シマスレバ、會社ノ基本的施設ニ投下サレマシタ拂込資本、社債、借入金等ノ合計額デアリマシテ、其ノ中デ建設費ニ屬スル部門ニ投セラレマシタモノヲ合算致シテ居リマス、之ヲ時價デ買収スレバ幾ラデアルカト云フ點モ、一應檢討致シテ見マシタ、大體四千五百萬圓位掛ル、斯様ニ見積ツテ居リマス

○坂東委員 時價ト云ヘバ鐵ノ價格モ騰貴シテ居ル、ソレ等ヲ目安トスレバサウデセウガ、ソレト丁度反對ニ、建設シタ當時ハ非常ニ安カツタ譯デアリマス、尤モ幾ラ安クテモ買収スル場合ニハ法律デ決メマスカラ、ソレハ差支ナイデスカレドモ、實際ニ投ジタ建設費ハ最初安カツタカト云フコトヲ伺ツタノデアリマス、買収價格ノ二千三百餘萬圓ト云フモノハ、法律ニ準據シテ決メタノデスカ

○榊居政府委員 左様デアリマス、地方鐵

道法及ビ同法ノ施行規則ニ基キマシテ、總テ法の根據ノ下ニ算定致シタ金額ニナツテ居リマス

○坂東委員 此ノ外ニ鐵道ハ何ト云フノガアリマシタカ

○棟居政府委員 此ノ外ニ樺太ニハ私設鐵道ガアリマス、補助致シテ居リマスモノハ

南樺太鐵道株式會社ノ鐵道デアリマス、補助致シテ居リマセシノハ、三菱ガ經營致シ

テ居リマスル鐵道ガ西海岸ニ一部アリマス

○坂東委員 此ノ南樺太鐵道ノ方ハ交通系統上ヨリ今後買收スルヤウナ計畫デモアル

ノデアリマスカ

○棟居政府委員 只今ノ所デハ之ヲ何時買收スルカト云フコトヲ明言致シ兼ネマスガ、

結局ハヤハリ樺太廳ノ財政ノ許ス限リ、速ニ買收シナケレバナラスト考ヘテ居リマス

○坂東委員 樺太ハ土地モ相當廣イノデアリマスシ、殊ニ又氣候寒冷ノ關係上、鐵道

ハマダノ數カネバナラスト考ヘマスガ、樺太廳ガ既ニ此ノ大キナ鐵道ヲ買收シマス

以上ハ、鐵道交通政策上是ガ樺太廳自身ガ鐵道ヲ建設スルト云フヤウナ計畫デモアル

ノデスカ

○棟居政府委員 樺太ノ拓殖ノ各種ノ角度カラ致シマシテ、最モ急ヲ要シマスルモノ

ハ交通ノ整備擴充デアルト云フ風ニ著眼ヲ致シテ居リマス、隨ヒマシテ、拓殖ノ動脈

ト致シマシテ、鐵道ノ建設ト云フコトハ、從來カラモ既ニ計畫サレテ居リマス、只今

ノ所デハ東西兩海岸ヲソレノ北ニ向ツテ二線ヲ建設致シテ居リマス、一線ハ久春内カラ惠須取ニ至ル線、一線ハ數香カラ空屯ニ對シマス線デアリマス、是ハ昭和十八年度末ニ完成ヲ致スト云フ豫定ヲ以テ只今著

著工事ヲ進メテ居リマス、尙ホ其ノ外ニ東西兩海岸ヲ連絡スル橫斷線ヲ建設致スト云フ意圖ヲ持ツテ居リマスガ、是ハ尙ホ計畫ヲ立テテ居リマセス

○坂東委員 數香惠須取間ノ如キ橫斷線ガ必要デアリマスガ、ソレニ付キマシテハドウ考ヘテ居リマスカ

○棟居政府委員 數香惠須取間ハ只今連絡道路ヲ用ヒテ居リマスガ、行クノハ此ノ兩地間ニモ鐵道ヲ敷設スル必要ガアルト認定シテ居リマス、唯此ノ間ハ大體八十數、キ

ロデアリマシテ、非常ニ峻嶮ナ山岳地帶ヲ經由致シマスノデ、約二千萬圓ノ工費ヲ要スルノデハナイカト見積ツテ居リマスガ、

適宜ノ時期ニ其ノ敷設計畫ヲ進メテ參リタイト思ツテ居リマス

○坂東委員 私ノ考デハ兩地ハ經濟上ノミナラズ軍事上ニ於テモ非常ニ重要ナル點デアリマスカラ、ドウシテモ連絡スル必要ガアル

ト思ヒマスカラ、成ベク其ノ計畫ヲ進メテ、其ノ實現ノ速カラランコトヲ私委員ノ一人トシテ希望スルノデアリマス、マダ其ノ

外樺太ノ鐵道ニ付テハ、交通政策上大イニ研究シテヤラナケレバナラスコトガ澤山アリマスカラ、根本的ニ交通政策、殊ニ鐵道

交通政策ヲ樹立サレコトヲ茲ニ希望致シマス

一寸關聯シマスコトデ御伺シタイト思ヒマスガ、樺太ハ景色ノ點ニ於テ亞寒地帶ナルヲ以テ非常ニ特色ガアリマスガ、樺太ニ

モ國立公園ヲ設ケテ此ノ特異性アル天然ノ景觀ヲ永久ニ保存スル考ガアリマスカ、長官ノ御考ハドウデスカ

○松岡政府委員 是ハ長官ニ御尋デアリマシタガ私カラ一應御答辯申上ゲテ置イタ方

ガ宜カラウト思ヒマス、事變以來特ニ昨年来坂東君ノ御承知ノ如ク石炭ノ問題ガ斯ノ如ク緊迫シテ、此ノ石炭ニ付テハ國內ト

シテハ樺太ニ最モ依存セシケレバナラス問題デアリマス、斯ウ云フ關係カラ樺太ハ特

ニ目立ツテ重キヲナスヤウニナツテ來タノデアリマシテ、只今坂東君ノ御述ニナツタ

ヤウニ、單ナル國防上ノ問題バカリデナク、其ノ他各般カラ眺メテ、樺太開發上ニ

一ツノ劃期的ノ見直シガ必要デヤナイカト思ツテ居リマス、御示シナリマシタ國立

公園ノ如キ、勿論ノコト、其ノ他各般ニ互ツテ、港灣、交通、教育、萬般ニ付テ全ク

樺太ヲ劃期的ニ見直スベキ時期ガ來テ居ルノデハナイカ、斯様ニ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ付テ御期待ニ副フベ

ク一ツ何等カノ處置ヲナサネバナラス、斯様ニ拓務當局ニ於テモ考ヘテ居ル次第デア

リマス、此ノ點ダケヲ申上ゲテ置キマス

○坂東委員 大體樺太ノ石炭ノ埋藏量ハどれ程位ナ見當デアリマスカ

○棟居政府委員 只今マデノ調査ニ依リマスレバ炭層ノ厚サ二尺五寸以上水準下二千

尺マデノ推定デアリマスガ、南樺太ニ於キマシテハ凡ソ二十二億五千萬噸ト見積ツテ

居リマス、其ノ中封鎖炭田内ニ埋藏サレテ居リマスモノガ十三億五千萬噸、既ニ民有

ニ屬シテ居リマスモノガ九億萬噸ト云フ風ニ只今ノ所デハ想定致シテ居リマス

○坂東委員 山林ノ材積ハ概算ドノ位今ゴザイマスカ

○棟居政府委員 是亦尙ホ一層精密ナル調査ヲ要スルト思ヒマスガ、只今マデノ調査ニ基キマスレバ各種ノ樹種ヲ合セマシテ八

億三千四百萬石ト想定致シテ居リマス

○坂東委員 樺太ノ農業政策ハ從來餘リ成功デハナカツタ、ソレハ穀栽培ナドヲヤ

タラニ獎勵シテ居リマシテ、亞寒地帶ノ農業ニハ適當デナク、大體失敗ノヤウニ思フ

ノデスカ、現在モヤハリ穀栽培獎勵ト云フヤウナ方針ヲ執ツテ居リマスガ、ソレトモ大

體亞寒地帶ノ農業タル牧畜本位ト云フヤウナ方針デヤツテ居リマスカドウカト云フコ

ト一寸御伺致シテ置キマス

○棟居政府委員 併シ自然上ノ非常ナ不利ナ條件ヲ具備致シテ居リマス、所謂亞寒帶

農業デアリマスカラ、自然的ナ「ハンディキヤツ」ヲ十分ニ調整克服致シマスト共ニ、

農業者ノ農業上ノ各種ノ體驗ヲ活用致シマシテ、新シイ農業經營形態ヲ樺太ニ於テ建設

スルト云フ目標ヲ立テテ居リマス、隨ヒマシテ結論的ニマダ十分ナル見透シヲ立テテ居

ナイ部面モアリマスケレドモ、大體樺太ニ於テハ農業ガ可能デアルト云フ風ニ吾等ト

致シマシテハ樂觀的ナ見解ヲ執ツテ居リマス、其ノ中デ特ニ農業ト畜産業トヲ結付ケル

所謂種畜農業デアリマシテ、完全ナル不可分關係ニ於テ農業ト畜産業トヲ併進サシタイト考ヘテ居リマシテ、其ノ建前ノ下ニ只

今ハ指導獎勵致シ、又農家モ極メテ愉快ナル生活活動ヲ致シテ居リマス

○坂東委員 樺太ハ勿論亞寒地帶ナルガ故ニ歐羅巴或ハシベリヤ等ノ亞寒地帶ノ農業ヲ大イニ參考トシナケレバナラスト思ヒマスガ、ソレハ今長官ノ仰セノ如ク、牧畜ヲ

主トシタル農業デナケレバナラスト云フコトハ、言フマデモナイコトデアリマス、其

ノ方針ヲ以テ進ムコトハ吾等モ贊成デアリマス、殊ニ馬ハ最モ適當デアリマセウガ、

將來樺太ニ於キマシテ、牧畜ヲ獎勵シ、馬

ハ一體下ノ位マデ生産スルト云フヤウナ見
當ヲ付ケテ居ラレルノデアリマスカ、ソレ
ヲ御伺シタイ

○棟居政府委員 樺太ニ於キマスル馬産計
畫ハ約二万八千頭ヲ取敢ズ十年間ニ生産致
ス、軍馬、耕馬、挽馬等各種合セマシテ、
二万八千頭ヲ取敢ズ第一期ノ十年計畫トシ
テ増殖スルト云フコトニ致シテ居リマシテ、
只今其ノ期間ノ半バデアリマス

○坂東委員 樺太ハ兎ニ角二千何百方里ア
リマスカラ、相當產馬ハ澤山出來ル可能性
ガアルト思ヒマスガ、樺太ニハ一體馬一頭
ニ付テ土地ヲ幾ラ位必要ダト云フ風ニ算定
シテ居ラレマスカ

○棟居政府委員 理想ト致シマシテハ、今
寧ロ樺太ノ農業經營上ノ常識ト致シマシテ、
農家ニハ牛二頭以上、馬ハ必ズ一頭ト云フ
コトニ致シテ居リマス、隨ヒマシテ馬ト牛
トヲ合セマシテ、農家ニ對スル放牧地、牧
草地等ノ割當ヲ致シテ居リマスルガ、只今
申上デマシタ標準ニ依リマシテ、五町歩ト
云フ見當デ凡ソノ土地ノ割當ヲ致シテ居リ
マス

○坂東委員 農家ニ對スル土地ノ面積ハソ
レデ宜シウゴザイマスガ、大體牧場タルベ
キ所ノ適地ハドノ位アリマスカ

○棟居政府委員 樺太デハ農牧地ト致シマ
シテ、必ズシモ是ガ農耕適地、是ガ放牧適
地ト云フ風ニ截然タル區分ハ只今ノ所致シ
兼ネマスルガ、兩者ヲ合セマシテ二十七
万町歩ト云フコトニ相成ツテ居リマス、其
ノ中ニ開墾サレ或ハ既ニ利用サレテ居リマ
スルノガ一割デアリマシテ、殘ル九割ガ尙
ホ將來ノ利用ヲ待ツテ居ルト云フ狀態デア
リマス

○坂東委員 サウシマスト二十万町歩内外
ガ農業若クハ牧場適地トシテノ未開地デア
ル、斯ウ見テ宜イノデアリマスガ、サウス
ルト二十餘万町歩ニ對シテ一體牛ナリ馬ナ
リガ何ボ産スルコトガ出來ルカ、斯ウ云フ
問題デアリマスガ、是ハ大體ノ見當ヲ付ケ
テヤルベキモノダト思フ、例ヘバ北海道言
ヒマスルナラバ、牛馬各、百万頭ト云フ計畫
進ンデ居リマス如クニ、將來ヲ見透シテ、
サウシテ確固タル大方針ヲ立テヤルベキ
ダト思ヒマス、今長官ノ御説明デハ十年計
畫デ二万八千頭デアリマスルガ、兎ニ角ソ
レ以上澤山産スル見込ガアルノデスカラ、
サウ云フ見透シヲ付ケテ大方針ヲ立テル必
要ガアルト思ヒマスガ、如何デスカ

○棟居政府委員 御説ノ通りデアリマス、
取敢ズ第一期計畫ト致シマシテ三万頭以內
ヲ目標ト致シテ施設シテ居リマスルガ、種
畜場ノ新設、各市町村ニ於ケル相當大規模
ノ放牧場ノ設置ノ助成、又各個人ノ牧場等
ノ適正ナル指導獎勵ト云フコトヲ總テ考ヘ
テ居リマス、唯併シ色々ナ事情カラ致シマ
シテ、豫算等モ相當苦シク認メラレテ居リ
マスノデ、全面的ニ樺太廳ノ理想ト致シマ
スル方向ニ向ツテ施設經營致シマスコトガ
若干遲レテ居リマスガ、御示シノ通りニ努
メテ多數ノ優良ナル家畜、特ニ馬ハ増殖致
シタイト考ヘテ居リマス

○坂東委員 松岡政府委員ニ御致シマス
ガ、樺太ハ、東北、北海道ニ劣ラヌ雪害ノ
大キイ所デアリマスルガ、此ノ樺太ノ雪害
ニ對シマシテ政府ハドウ云フ風ニ御考ヘニ
ナツテ居リマスカ

○松岡政府委員 特ニ坂東君カラ雪害ノ問
題ヲ私ニ質問セラレタノデアリマスガ、樺
太方面ハ残念ナガラ私ハ現地ヲ知りマセ
スノデ、併シナガラ凍害ノアルコトハ當然デ
ゴザイマス、雪害ノ方ハ却ツテ冬ニナレバ
總テノ山野ヲ自由ニ歩ケルヤウナ工合ニナ
ルト云フコトモ申シマス、正直ノコトヲ申
上デマスガ、洵ニ雪害ノ點ニ付テハ私ハ甚
ダドウモ分ラナイノデ申譯ナイ次第デアリ
マスガ、北海道同様考慮スベキモノデアラ
ウト云フ概念的ニ見テ左様ニ御返答申上デ
ルヨリ外ニ、實際ハ私マダ就任日淺クシテ
ソコマデニ至ツテ居リマセスコトヲ甚ダ殘
念ト申上デテ御返事申上デテ置ク譯デアリ
マス

○坂東委員 マア十分ニ御研究ヲ願ヒマス
ガ、長官ニ御伺シマスガ、鐵道ヲ經營スル
ヤウナ場合ニ當ツテ雪害或ハ寒サノ害、サ
ウ云フコトガ相當アルノデアリマセウガ、ソ
レニ對シテ樺太廳ノ鐵道ハドウ云フヤウナ
施設ヲヤツテ居リマスルカ、其ノ點ヲ一寸
御伺致シマス

○棟居政府委員 樺太デハ内地ノ東北方面、
北海道方面ニ累次起リマセウナ雪害ト申
シマスルモノハ、所謂天災ニ類似ノヤウナ
意味ノ雪害ト申シマスモノハ、先ヅ無イト
吾々ハ考ヘテ居リマス、時ニハ固ヨリ猛烈
ナル吹雪ガ襲來致シマシテ、交通ヲ阻ムコ
トハアリマスルガ、併シ是ガ爲ニ人畜等ニ
烈シキ被害ヲ及ボスト云フコトハ、殆ド例
ガナイノデアリマシテ、數回雪崩ノ爲ニ被
害ヲ生ジタコトハアリマス、併シ繼續的ナ
ル雪害ト云フコトハ樺太ニハ先ヅ無イ、寧
ロ雪ヲ十分ニ思フ存分利用シテ、交通上等
ニ之ヲ逆ニ役立タセルト云フ風ニ、島民等
ハ雪ヲ寧ロ天恵ナリト致シテ居ルノデアリ
マス、併シ雪ニ依ツテ起キマス善惡兩方面

ノ影響ニ付テハ十分ニ敏感デアリマシテ、
現ニ十五年度ノ豫算等ニ於キマシテハ、雪
上ノ交通ヲ研究致スト云フヤウナ豫算モ載
イテ居リマス、又中央試驗場ニ於キマシテ
モ新ニ區域ヲ設ケマシテ、斯様ナ北方地帶
ニ於ケル各種ノ問題、自然的人爲的ナ方面
ノ人間生活ニ及ボス影響ヲ研究致スコトニ
致シテ居リマス

○坂東委員 樺太ノ馴鹿ハアレハ珍シイモ
ノデアリマスガ、天然記念物トシテ居ルノ
デアリマスガ、自然ニ委シデアリマスカ

○棟居政府委員 馴鹿ハ只今凡ソノ所六七
百頭居リマスガ、是ハ土人ノ手デ管理致シ
テ居リマス、別ニ樺太廳ト致シマシテハ積
極的ニ保護モ致シテ居リマセシ、天然記
念物の扱ヒモ致シテ居リマセシガ實ハ既ニ
御承知ト思ヒマスガ、是ガ北方ノ雪上ノ交
通ニ特ニ優秀ナル機能ヲ持ツテ居リマスノ
デ、軍事上或ハ一段交通上ニ之ヲ利用致シ
タイト云フ著眼ノ下ニ、十五年度ニ百頭バ
カリ樺太廳ハ買上デマシテ、飼育、管理、
増殖及ビ馴鹿ノ肉、皮、角等ノ利用ヲ研究
致シテ、軍部ト相俟ツテ左様ナ方法ニ進
ンデ居リマス

○坂東委員 之ヲ自然ニ放任スレバ段々減
少スルト思ヒマスガ、減少シテ居ラスノデ
アリマスガ、利用研究モ結構デアリマス
ガ、珍シイモノデアリマスカラ、利用研究ヨ
リハ寧ロ積極的ニ保護シテ行ツテ、其ノ増
殖ヲ圖ルト云フ方ガ必要ト考ヘルガ、如何
デスカ

○棟居政府委員 御示シノ通りデアリマス、
取敢ズ百頭内外ヲ樺太廳デ買上デテ試験ヲ
致シマスガ、行ク／＼ハ只今土人ノ管理致
シテ居リマスモノヲ全部國ノ所有ニ移シマ

シテ、之ヲ先ヅ基礎ニシテ完全ナル有用動
物ト致シマシテ、之ヲ繁殖サシタイ、遅レ
テハ居リマスガ、數年後ニハ相當馴鹿ハ樺
太ニ於テ重要ナル役割ヲ示ス動物デハナイ
カ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○坂東委員 尙ホ松岡サニ御同致シマス
ガ、實ハ私ハ十數年前カラ樺太ノ國立公園
ト云フコトヲ唱ヘテ居ル譯デスガ、アノ亞
寒地帯ノ偉觀、大自然、大景觀、之ヲ自然
ニ放任シテ置クナラバ、ドウシテモ荒サレ
テシマフカラ、其適當ナル部分ヲ國立公園
ト指定シテ保護スル必要ガアルト思ヒマス
ガ、之ヲ實現スルコト云フ御考ハアリマセ
カ

○松岡政府委員 國立公園ハ最初ニ私ガ日
光ヲ唱ヘテ、現ニ實現シテ居ルノデアリマ
ス、國立公園ニ關シテハ特ニ私最初ノ發言
者デアツタケニ關心ヲ持ツテ居ル次第デ
アリマス、マダ樺太ハ知リマセスカラ、近
ク是非坂東君ノ御心ヲ體シテ能ク見テ參リ
タイト思ツテ居ル次第デアリマス、洵ニ御
說御尤モデアルト存ジテ居ル次第デアリマ
スガ、可能性アルヤ否カノ點ニ付テハ御即
答ヲ避ケタイト思ツテ居リマス

○坂東委員 是ハ善處ノ上實現アランコト
ヲ私カラモ希望シマス、尙ホ水産ニ關シ
マシテハ、樺太廳ハ水産政策ヲ勿論大イニ
ヤツテ居リマスガ、其ノ水産政策ノ基礎タ
ル漁港ノ修築、築造、ソレガドレヲ見テモ
餘リ小規模過ギルヤウニ思ヒマスガ、モウ
少シ積極的ニヤルト云フヤウナ御考ハナイ
デスカ

○松岡政府委員 先程申上ゲマシタ通り樺
太ニ付テハ特ニ見直ス必要ガアルノデハナ
イカ、斯様ニ考ヘテ、有ニル角度カラ樺太

ノ開發上ニ特段ノ力ヲ用ヒタイト云フ心ヲ
持ツテ居ルコトヲ御諒承ヲ戴キタイト存ジ
マス、只今御希望ノ點ハ勿論ノコト、其ノ
他萬般ニ付テ樺太ヲ本當ニ見直シテ見タ
イ、斯様ニ存ジテ居ル次第デアリマス

○坂東委員 一例ヲ舉ゲマスレバ、泊居ノ
漁港ナドハマルデ玩具ミタイイナモノデ、僅
カナ小サイ船ガ入ツテ居ルガ、風ガ吹クト
中デ壞レテシマフト云フヤウナモノデアリ
マス、ソナコトデハイカヌ、兎ニ角世界
三大漁場ヲ控ヘテ居ル樺太デアリマスカラ、
水産業ニハ大イニ力ヲ入レテ、漁港ナドハ
モウ少シ大キクシナケレバイカヌト思ヒマ
ス、今松岡政府委員ノ御話ノ通り樺太ヲ見
直シテ、積極的ニ計畫ヲ進メラレンコトヲ
希望致シマス、金ハドン／＼要求スレバ議
會ハ贊成シマスカラ、積極的ニヤラレルコ
トヲ希望致シマシテ、私ノ質問ハ之ヲ以テ
終リマス

○沖島委員 先程ノ坂東君ノ質問ニ關聯シ
テ——樺鐵ノ買收ガ一年ノ後ニ行ハレマス
ガ、此ノ一年間ヲ通シテ百三十萬圓バカリ
建設費ヲ見積ツテ居ラレマス、其ノ内容ハ
ハツキリシマセヌガ、買收價格二千三百四
十萬圓、是ガ見積ラレテ居リマスガ、其
ノ數字ニ餘リ狂ヒガ來テハ困ル、ソレガ増
加シテハ困ルト云フコトニ拘泥サレマス、
當然爲サナケレバナラヌ改良工事、又樺鐵
ガ買收サレナイデ營業ヲ繼續シテ居レバ、今
後樺太ノ石炭其ノ他ノ増産ニ對シテ資材ノ
運搬上當然補充シ補修シテ行カナケレバナ
ラヌ所ノ貨車等モ、皆ナ手控ヲシナケレバ
ナラヌ、例ヘバ路線ノ改良工事ナドモ今ニ
シテヤツテ置ケバ一萬圓デ済ム、ソレヲ一年
間經テバ廳テ買收サレカト、言ツテ放棄

シテ置ケバ、ソレガ後デ五萬圓ニモナル、
ソレカラ貨車等ノ如キ、今ニシテ注文ヲシ
テ置ケバ相當ナモノガ準備出來ル、ソレガ一
年後ニナレバ非常ナ高イ金額デ買ハナケレ
バナラヌト云フヤウナ結果ヲ來シハシナイ
カ、又價格ノ點ニ於テハ大差ハナイトシテ
モ、段々物資ガ缺乏ヲ來ス今後ニ於テ樺太
廳ノ手ニ移ツテカラ、貨車、或ハ機關車等
容易ニ準備ガ出來ナイ、或ハ路線改良工事ニ
付テモ「セメント」ト云フヤウナ物資ガ手
ニ入ラヌ結果ヲ來シハシナイカ、今ノ豫定
サレタ所ノ買收價格ニ餘リ拘泥スルト、サ
ウ云フ結果ニナル、ソレガ百三十萬圓デ十
分心配オシニ準備ガ出來ルカドウカ、ソレ
ヲ一寸伺ツテ置キタイ

○棟居政府委員 鐵道ノ正常ナル運轉ノ爲
ニ必要ナル建設及ビ補修ハ假ニ近々ノ間ニ
此ノ鐵道ヲ國ニ於テ買收致スニ致シマシテ
モ、是ハヤハリ會社側ノ手ニ依ツテ實施サ
セル積リデアリマス、百三十萬圓ハ決シテ
樺太廳デ不自然ニ至メタ數字デハナイノデ
アリマス、會社側ノ方デ從來ノ實績ニ微シ
テ必要ナリト認メマシタ金額ヲ豫算面ニ其
ノ儘計上シテ居リマス、左様ナ御心配ハナ
イト思ツテ居リマスガ、買收ヲ見越シテ特
ニ目立ツタ新施設ヲ致スコトハ抑ヘテ居ル
ト云フ趣旨デアリマス

○沖島委員 今ノ點ハ餘程御注意ニナリマ
セヌト、ドウセ儲カルコトデモナイシ、一
年後ニハ買收サレルノデアリマスカラ、今
手數ヲ掛ケル必要ハナイト云フヤウナ考デ、
會社ニ怠慢トカ或ハ不誠意ハナイト思ヒ
マスケレドモ、兎角サウ云フコトハアリ勝
チデアリマスカラ、今ニシテ準備シテ置カ
ナケレバ將來國有ニ移ツテ大ニ經濟デア
ル

ト云フヤウナモノハ、餘リ買收豫定金額ニ
拘泥セズ、用意サレンコトヲ望ミマス
ソレカラ先日私ガ長時間ニ互ツテ質問致
シマシタガ、石炭ノ増産、之ニ一番大ナル
關係ヲ持ツ労働者ノ問題デアリマス、是ハ
樺太廳モ相當ニ努力シテヤツテ居デニナ
ルヤウデアリマスガ、鑛山労働者、或ハソ
レニ伴フ土木工事、樺太廳ノ色々土木事
業等ニ要スル、主トシテ請負人ノ使用スル
労働者、是等ニ對シマシテハ、北海道デハ
福利協會ト云フモノヲ拵ヘマシテ、道廳長
官ガ協會ノ會長トナツテ、サウシテ東京ニ
常置員ヲ派遣シテ居リマシテ、労働者ノ獲
得ニ全力ヲ注イデ居ル、是等ニ鑑ミラレマ
シテモ、労働者ノ獲得ト云フコトニ付テ、
今一段ト御計畫ガナクテハナラヌ、北海道
ノ如ク常置員ヲ東京又ハ大阪ニ駐在セシム
ル様希望致シマス、サウシテ昨今ハ全國各
地ニアリ勝デアリマスガ、労働者ノ拔取ノ
競争、折角多額ノ費用ヲ投ジテ連レテ行ツ
テモ、ソレヲ誘拐シテ拔取ツテシマフ、拔
取又拔取デ、大變ナ費用ト努力ノ無駄ヲ生
ズルヤウナコトニナリマシテ、現ニ樺太ノ
或ル方面デハ鑛山労働者ハ心配ハアリマセ
ヌト云フヤウナコトヲ言ハレテ居ル、何故
カト云フト、三菱等ノ大鑛山會社ガ金ヲ掛
ケテ坑夫ヲ連レテ來ル、ソレヲ拔取レバ宜
イ、是ガ盛シニ行ハレテ居ル、此ノ労働者
ノ拔取、奪ヒ合ヒノ取締ニ付テ一段ト警察
ノ取締ガ嚴重デナイト、折角將來非常ナ決
心ノ下ニ石炭ノ増産計畫ヲヤリマシテモソ
レニ一大支障ヲ來ス、此ノ點ニ付テ樺太廳
ガ相當取締ヲシテオイデニナルト思ヒマス
ガ、今其ノ取締ノ方法トシテドウ云フコト
ヲヤツテ居リマスカ、承ツテ置キタイト思

ヒマス

○棟居政府委員 御心配ニナリマスヤウナ事態ガ絶無ダトハ斷言シ得ナイト思ヒマスルガ、何分ニモ鑛山ノ一時ノ勃興、ソレニ加ヘマシテ各種ノ新ラシイ土木工事等ガ相等値エテ参リマシタノデ、季節的労働者及ビ常雇の労働者ノ數的確保ト申シマスルコトハ樺太ノ官民舉ゲテ最大ノ努力ヲ傾注シテ居ル所デアリマスルガ、同時ニ思ハシク成績ガ舉リマセヌノデ大變惱ミテ感じテ居リマス、本年モ鑛山ダケデモ一萬數千人ノ新ナル労働者ヲ移入シナケレバ、折角立テマシタ増産ノ目的モ實現出來ナイ、其ノ外ニ約十万人ノ季節的労働者ガ必要ナノデアリマス、是ハ所謂見エザル人口ト致シマシマス、隨ヒマシテ労働者ノ質ノ方面ト量ノ方面トノ兩々相俟ツテ非常ナ苦心ヲ致シテ居リマス、北海道並ニ何等カノ有力ナル業者ノ機關ヲ設ケルト云フコトニ付キマシテハ、只今マデ考慮ヲ進メテ居リマスノデ近ク實現スルト思ヒマス、又鑛山方面ニ付キマシテモ、既存ノ團體ヲ根本的ニ改組致シマシテ、有力ナル活動團體ト致シタイト、是亦準備ヲ進メテ居ル次第デアリマス、労働者ノ拔取爭奪ハ業者ノ自肅ニ俟ツテ居リマスルガ、固ヨリ警察ノ方デモ十分ナル監視ヲ致シテ居リマス、併シナガラ御指摘ニナリマシタヤウニ、中々是ハ容易デナイノデアリマシテ、労働者ノ自由意思デ甲ヨリ乙ヘ轉々致シマスルコトヲモ禁止スル譯ニハ参リマセヌ、労働條件或ハ物的施設ヲ誇示致シマシテ、立派ナ建物ヲ造ルトカ、病院ヲ造ルトカ云フヤウナ、労働者ノ喜ブヤウナ施設ヲ致シマスレバ、自然労働者ハソチ

ラヘ参リマス、中々是ハ規則デ抑ヘルト云フコトハ至難デハナイカト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ關係業者間ノ全面的自肅自戒ニ依リマシテ、斯様ナ御互ガ迷惑ヲ受ケルヤウナ行爲ハ、之ヲ慎ムト云フコトニ致サシテ居リマスルガ、是亦中々效果ガ十分デナイノデアリマス、併シ此ノ儘ニハ放置出來マセヌカラ、産業報國運動等ノ精神的ナ運動ヲモ加味致シマシテ、彼等ニ十分理ヲ諭シ、眞ニ樺太ノ産業ノ健全ナル發達ヲ圖ルト云フ見地ヲ十分ニ認識サセマシテ、斯様ナ弊風ガ少シデモ緩和サレマスルヤウニ努力致シタイト思ツテ居リマスルガ、尙ホ一段ト注意ヲ致シタイト思ツテ居リマス

○沖島委員 業者ノ自肅自戒ナドト云フコトデハ駄目デス、法律ノ許サ範圍デ強力ナ警察ノ取締ガナケレバナラヌト思フ、現ニ此ノ間長官モ御説明ニナリマシタ内幌炭山デ、折角アレダケノ設備ガアツテモ、坑夫不足ノ爲ニ十分石炭ガ出ナイ、内幌デハ十分増産出來ルダケノ人數ヲ募集シタノデアルガ、夫レヲ大部分拔取ラレタノデアアル、労働者ガ移動スル間ハ仕事ヲシナイ、汽車ニ乗ツタリ船ニ乗ツタリシテ居ル間ハ、日當ハ拂フケレドモ石炭ハ出ナイ、サウ云フコトガ全國各地ニアル、殊ニ樺太ガ一番ヒドイ、是ハ自肅自戒ニ俟ツナドト云フコトデナク、人權蹂躪マデ行ツテハイカンケレドモ、ソレニ近い位ノコトハヤウテモ取締ル必要ガアルト思ヒマス、是ハ私ノ希望トシテ申上ゲテ置キマス

○石坂委員 一寸委員長ニ御願ヲ致シマス、私ハ拓務大臣ニ拓務行政ニ付テ重要ナル質疑ヲ致シタイ、次デ時間ハ掛リマセヌガ、採決ニ入ラレル前ニホンノ暫クノ時間私ノ

質問ヲ留保サセテ戴キタイ、今一ツハ此處ニ政務次官ガ居ラレマスノデ暫クノ時間ヲ拜借シテ政府ニ進言旁、御意見ヲ伺ツテ置キタイノデアリマス

ソレハ本問題ノ買収案トハ直接關係シナイモノデアリマスガ、併シナガラ樺太ノ開發ト云フ問題ニ付テ重大ナル關係ヲ持つ、此ノ鐵道買収モ等シク樺太ノ開發ガ根幹トナツテ行ハレルノデ、無論軍事上ノ必要モアリマスケレドモ、樺太ノ住民ノ便利ヲ圖リ、サウシテ彼ノ地ヲ開發スルコトニ最モ役立ツ所ノ最良ノ方法ヲ執ツテ戴キタイ、ソコデ昨今樺太ニ於テ最モ重要視サレテ居ルコトハ石炭ノ採掘デアリマス、是ハ無論國策トシテ必要ナコトデアラウト思ヒマスガ、併シソレニ付テ多少考ヘテ見ナケレバナラヌコトハ、樺太カラ材木ヲ伐ツテ「バルプ」ヲ製造スル、是ハ必ズシモ不便ナ彼ノ地デヤラナケレバナラヌコトデハナカツタト思フケレドモ、當時ノ先輩デアル樺太ノ爲政者ハ、ヤハリ樺太ノ拓殖ト結び著ケナケレバナラヌト云フ點ヲ考慮シテ、彼ノ地ニ澤山ノ工場ヲ設ケルコトニナツタ、其ノ事ニ關シテ不便ナ地ニモ拘リマセズ、労働者或ハ優秀ナル技術者ヲ多大ノ犠牲ヲ拂ツテ彼ノ地ニ定著セシメ、材木ノ利用ト増産ヲ圖ツタト云フコトハ、是ハ大イニ吾々トシテ先輩ノ勞ヲ多トシナケレバナラヌ、ソコデ吾々ハ今石炭問題ニ直面致シマシテ、全部ヲ掘ツテハ持つテ行キ、掘ツテハ持つテ行キシテ、樺太ト直接關係ノナイ所ニ利用サレルコトハ是ハ已ムヲ得ナイト致シマシテモ、若シ出來得ルナラバ彼ノ地ニ於テ工場ヲ持チ、ソレヲ利用スルト云フコトニシナケレバナラナイ、所デ幸ナル哉、彼ノ地ニ埋藏

サレテ居ル石炭ノ中デ、上層部ノ石炭ハ「カロリー」ガ低クシテ是ハ低溫乾溜並ニ液化原料トシテ餘程優良ナルモノデアルト云フコトニナツテ居ル、最近問題ニナツテ居リマスル珍内炭田ノ如キハ、是ハ日本發達電ニ持つテ來ルコトニナツテ居リマス、私ハ此處ニ其ノ調査ノ報告モ持つテ居リマスガ、之ニ依ルト上層部及ビ下層部トモ他ノ炭田ニ比シテ全ク低溫乾溜並ニ石炭液化ノ原料炭トシテ「カロリー」ガ一番宜イ下斯ウナツテ居ル、所ガ石炭ガ欲シイモノデアルカラ、是ガ日本發達電ノ手ニ歸シマシテ内地ニ持つテ來ルヨリ外ナイコトニナツテ居リマスガ、洵ニ惜シイモノデアリマス、デアリマスカラ彼ノ地ニ工場ヲ置キマシテ、現ニ内幌ニヤツテ居リマス液化工場ノ如キ、又内淵炭田ヲ開發致シマシテ人造石油ヲ造ルト云フヤウナ、斯ウ云フ方面ニ利用スルト云フコトガ必要ナノデアアル、今目的ノ爲ニ手段ヲ選バヌヤウナコトバカリ考ヘテ居ツテハイカヌノデアアルカラ、一面石炭ノ開發ト同時ニ、日本ニ最モ資源ノ乏シイ液體燃料ヲ得ル爲ニ此ノ液化ヲ圖リマシテ人造石油ノ方ノ用途ニ使用スル、或ハ「ガソリン」ノ製造ニ應用スル、現ニ内幌ノ如キハ樺太ノ「ガソリン」使用ノ大半ヲ滿スコトガ出來ルヤウニナツタノデアリマス、其ノ方面ニ折角彼ノ地ニ埋藏セラレテ居ルモノヲ利用スル、唯掠奪シテ取ツテ來サヘスレバソレデ宜シイト云フコトデナシニ、往年ノ木材ヲ彼ノ便利ノ土地ニ工場ヲ建テテ利用シタト同ジヤウナ考ノ下ニ、之ヲ樺太ニ於テ利用スル、樺太ニ於テソレガ住民ノ定著ト相結ンデ彼ノ地ノ開發ニ最モ大ナル方面ニ持つテ行ク、此ノ點モ今日ニ於テ考フベキ

問題ダト思ヒマス、此ノ點ニ付テ政府ノ所見ヲ拜聴シタト思ヒマス、一モ二モナク今戰時デアルカラ内地ニ持ツテ來レバソレデ宜シイ、斯ウ云フモノデハ私ハナイト思フ、ヤハリ物ノ利用價值ヲ考ヘテ「カロリー」低イモノハ、其ノ場所モ不便ナ所デアリマスカラ、強ヒテ多大ノ犧牲ヲ拂ツテ内地ニ持ツテ來ルト云フコトヲ考ヘズニ、寧ロ日本ニ不足シテ居ル所ノ液化用ニ應用スル、斯ウ云フ御考ハナイカ、其ノ點ニ付テ御伺ヲ致シタイ

○松岡政府委員 只今石坂君ノ御質問ニ當然ノコトデアリマス、如何ニ石炭ノ飢饉ニ對應スベク努メルトハ申シナガラ、アルモノサハ持ツテ來レバ宜イデハナイカト云フヤウナコトデハ、決シテ國家ノ爲ニナラスト言ハレル、只今ノヤウナ御説ノ如キ御趣旨ヲ以テ善處スルコトニ方針ヲ決メテ居リマスカラ、唯ソレダケヲ御答申上ゲテ置キマス

○石坂委員 只今松岡政府委員ノ御説明ニ私ハ満足スル者デアリマスガ、併シ實際ニ於テ政府ノ目ヲ潛ルコトハ出來ナイノデアリマスカレドモ、監督ノ届カナイ點ニ於テ、ドンナ石炭デモ内地ニ浚ツテ持ツテ來ル傾キガ最近著シクナツテ居ル、今申シマシタ日本發送電ノ珍内炭田ノ如キハ正ニ其ノ通りデアル、通信大臣ノ説明スル所ニ依リマス「カロリー」ガ六千「カロリー」アルト云フコトニナツテ居リマス、是ハドノ石炭ヲ試驗ナサレタノカ知レマセヌガ、吾等ノ知ル限りノ範圍ニ於テハ珍内炭田ノ「カロリー」ハ上層部ガ五千八百「カロリー」斯ウ云フコトニナツテ居リマス、サウシテ下層炭田ノ第二層ト云フノハ、或ハ隣リノ

炭坑ノ同層ノ鑛脈ヲ以テスレバ六千八百「カロリー」アルカモ知レマセヌ、アルカモ知レマセヌト云フノヲ直チニ隣ノ鑛區ニ應用シテ、サウシテ高イ値デ日本發送電ガ買收シテ居ル、取ツテ來テ後日ニ置イテオクノカモ知レマセヌケレドモ、今日ソレハ彼ノ地ニ於ケル低溫乾溜若クハ液體燃料トシテ必要デアルト云フ調査員ノ報告ト云フモノハ實際行ハレナイデ、内地ノ需要ニ當テスルウ云フコトハ非常ニ國家經濟カラ見テ考フベキコトデアル、私ハ現ニ一ツノ例ヲ見テ居リマス、到ル處ノ炭田ノ開發ニ付テ彼ノ地ニソレヲ液體燃料ノ原料トシテ留メ置クト云フコトハ今日誰モ考ヘテ居ラス、唯人造石油會社ガ出來テ三菱ガ多大ノ犧牲ヲ拂ツテ内地ニ於テ低溫乾溜ノ工場ヲ造ツテ居ル、此ノ二ツノ工場ニ政府ハ多大ナル犧牲ヲ拂ハレテモ多々益、辨ズルノデアツテ、今日ノ如キ石油不足、「ガソリン」不足ノ場合、貴重ナル木炭カラ瓦斯ヲ取ツテ東京市中ブー／＼ト走ツテ居ルト云フヤウナ、斯ウ云フ不便ヲ速ニ除カナケレバナラス、ソレニハ樺太ノ石炭ガ重要ナル使命ヲ持ツテ居ルノデアル、ソコニ著眼セラレルコトガ必要デアルト考ヘマスガ、御方針ハ只今伺ツタ通りデアリマスカ、ドウカ、御方針ヲ強化セラレマシテ、是非トモ樺太炭田ノ使命ヲ此ノ方面ニ向ツテ利用セラレルト云フコトニシテ戴キタイノデアリマス、ドウゾ政府委員カラモ大臣ニ御傳ヘ下サイマズルヤウニ願ヒマス、又此ノ問題ハ内閣ニ於テ御考慮セラレベキ問題デアリマスカラ、長官初メ各、努力セラレマシテ、唯徒ニ政府ハ當議場ニ於ケル御辯明ノミニ止ラズ、實際ニ於テ實現スルコトニ努力シテ戴キタ

イノデアリマス、私はデ質問ヲ終リマス
○中野委員長 暫時休憩致シマシテ、午後一時半ヨリ再開致シマス、ソレマデニ成ベク黨ノ御意向ヲ決定シテ戴キタイト思ヒマス

午前十一時五十八分休憩

午後一時五十七分開會

○中野委員長 只今ヨリ午前ニ引續キ開會致シマス、樺太地方鐵道補助法中改正法律案、樺太鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、右兩案ニ對シマシテハ質疑ハ終了致シマシタ、是ヨリ右兩法案ヲ一括議題トシ討論ニ付シマス、討論ハ通告順ニ依ツテ之ヲ許シマス——坂東幸太郎君

○坂東委員 樺太ハ土地ガ廣漠デアリマシテ、尙ホ陸產水產共ニ相當開發ノ餘地ガ存シテ居ルノデアリマス、隨テ將來相當大ナル發展性ガアルノデアリマス、其ノ發展性ヲ十分ニ顯現スルニハ、鐵道ノ交通政策ガ最も必要デアルト信ジマスカラ、今後鐵道交通政策ニ付テハ徹底的ナル調査ヲ遂ゲラレ、其ノ大方針ヲ確立シ之ヲ實現セラレシコトヲ特ニ要望致シマス、而シテ從來樺太廳ハ中央ヨリ遠イ、爲ニ動モスレバ、其ノ施政上ニ於テ彼此レト非難サレルヤウナコトガアリマシタガ、幸ニシテ賢明ナル棟居長官ガ居ラレル以上ハ斯ルコトハ生ジナイト存ジマスガ、此ノ樺太地方鐵道補助法中改正法律ヲ施行スルニ付テモ、細心ノ御注意ヲ願ヒタイコトガ二三アリマス、其ノ一例ヲ申上ゲマスナラバ、第一條ニ「但シ每營業年度ニ於ケル益金ヲ建設費ニ對シ年一分ノ割合ニ相當スル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ハ

之ヲ補助金額ヨリ控除ス」トノ規定ガアリマス、ソレデ其ノ益金ガ幾ラデアルカト云フコトヲ算定スル場合ニ於テ、會社ト樺太廳トノ間ノ意見ガ必ズシモ一致シナイト思ヒマス、例ヘバ十萬圓超過スル場合ニハ、十萬圓控除サレルノデアリマスガ、之ヲ五萬圓ト決定スルナラバ、控除ハ五萬圓デアリカラ、五萬圓ダケ會社ガ利益スルノデアリマス、隨テ超過額算定ニ付テハ會社側ト樺太廳側トノ間ニ意見ノ衝突ガ起ルト思ヒマスガ、斯ル場合ニハ十分注意ヲ加ヘラレテ、第三者ガ見テモ如何ニモ公正妥當ナル決定ヲセラレンコトヲ希望致シマス、此ノ意味ニ於キマシテ、兩案共ニ我ガ民政黨ハ原案ニ贊成ヲ表シマス

○中野委員長 沖島鐵三君

○沖島委員 私ハ立憲政友會ヲ代表致シマシテ、本案ニ贊成ノ意見ヲ申述べマス、兩案ハ連日ノ委員會ニ於テ十分審議サレタノデアリマスガ、樺太ノ鐵道ハ東西並行シテ居リマシテ、其ノ間僅ニ豐眞間ダケ中間ノ連絡ヲ致シテ居リマス、南ノ方モ北モ連絡ナシニ並行シテ居ル、是ハ鐵道ノ機能發揮ノ上ニ於テ大ナル缺點デアリマスカラシテ、豫定サレテ居リマスル數番惠須取間、ソレカラ眞縫、久春内間ノ連絡線ハ成ベク早く其ノ建設ニ著手サレンコトヲ希望致シマス、而シテ又鐵道ノ機能ヲ十分發揮スル爲ニハ、港灣ノ施設ガ之ニ伴ハナケレバナラス、ソコデ長官ノ御方針トシテ、過日委員會ニ御發表ニナツタ所ニ依リマスルト、惠須取、大泊ヲ石炭輸出港トシテ重キヲ置ク、是ハ當然サウアルベキデアリマスガ、他ノ各港灣ニ付キマシテモ、十分ニ此ノ施設ヲ完成サレン事ヲ希望致シマス、ソレカ

ラ私ハ繰返シテ申スヤウデアリマスガ、ドウシテモ廳テ一千万匁カラノ石炭ノ產出ヲ爲サングタメニハ、現在ノ樺太廳ノ鑛務課ノ機能ダケデハ到底不可能ダと思フ、ヤハリ特別ナ一ツ臨時石炭増產部トカ云フヤウナモノヲ設ケテ、東京ニハ樺太廳ノ事務所ガアルノデアルカラ資材ナリ勞力ヲ十分ニ内地カラ送り届ケル爲ニ、ソレノ專門ノ役人ヲ派遣シ駐在セシメルト云フ位ノコトハシナケレバ、一千万匁ト云フヤウナ大キナ數字ノ石炭ノ產出ヲ豫定通り實現スルコトハ出來ナイデヤナイカト考ヘル者デアリマス、又森林行政ノ上ニ於キマシテハ、ドウモ農林省ニ比較シテ見マシテ、例ヘバ青森ナリ秋田ナリノ營林局又ハ東京大阪ノ如キハ、勅任官ノ局長デアアル、サウシテ其ノ局ニ課ガ六ツモセツモアル、樺太廳ハアレ程ノ大キナ森林ヲ管轄シテ居リナガラ、其ノ陣容ガ甚ダ貧弱デアリマス、是等モヤハリ森林ノ重要性ニ鑑ミテ、外局ノ山林局ト云フカ、山林部ト云フ位ノモノヲ置キマシテ、林政ノ上ニ遺憾ナキヲ期スル必要ガアルト考ヘマス、是等ノ希望ヲ申述ベマシテ、兩案ニ贊成スル者デアリマス

○中野委員長 中野寅吉君

○中野委員 此ノ兩案ニ對シテハ坂東、沖島兩君ガ述ベラレタ趣意ニ依ツテ贊成致シマス

○中野委員長 井上良次君

○井上委員 私モ原案ニ贊成デゴザイマスガ、此ノ際一言申上ゲテ置キタイノハ、坂東サン或ハ沖島サンガ申サレマシタヤウニ樺太ノ産業開發又國防的ノ見地カラ鐵道交通ノ完成ハ極メテ重要デゴザイマス、特ニ國防上ノコトニ觸レルコトハ此ノ際遠慮

致シマスガ、産業開發ニ關シマシテハ、樺太廳ガ隨分努力ヲ重ネテ今日石炭ノ増產ニ或ハ林産ニ、或ハ水産ニ、非常ナ努力ヲ拂ハレテ居リマスケレドモ尙ホ一段ノ工風ガ必要デハナイカト考ヘラレマス、樺太行政ニ於テ重大ナル點ハ、樺太ガ他ノ植民地ト異ナツテ純然タル我が同胞ノ移住民ヲ持ツテ居ルト云フ點デアリマス、隨テ亞寒地帯ヘノ我が國民ノ第一線進出地ト致シマシテ、此處ニ永住シ得ル一ツノ對策ヲ根本的ニ研究スル必要ガアルト云フ點ハ見エ抜イテ居リマスガ、幸ニ致シマシテ、樺太廳移住民ノ衣食住ニ對シ、根本的ナ檢討ヲ加ヘラレテ居ルサウデアリマシテ、尙ホ一層ノ努力ヲ要望致シマス、更ニ鐵道ニ關聯致シテ重大ナル點ハ、港灣ノ改修、即チ内地トノ距離ノ短縮ノ問題ヲ考ヘナケレバナリマセヌ、其ノ爲ニハ速力ノ速イ輸送船ヲ持ツコト、色々ナコトガ考慮サレルノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テモ一層ノ御研究ト御對策ヲ御願致シマシテ原案ニ贊成ヲ致ス次第デアリマス

○中野委員長 討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決ヲ致シマス、兩案トモ原案ニ贊成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○中野委員長 起立總員、仍テ兩案ハ何レモ原案ノ通り可決致シマシタ(拍手)連日ノ御勞苦ヲ感謝致シマス、是ニテ散會致シマス

午後二時十分散會